

広島県

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要

調査実施期日

令和6年4月18日（木）

調査実施学校数（県内公立学校）等

	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年	451校	22,601人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年	239校	20,038人

教科に関する調査の結果

- 小学校は、国語及び算数において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語において、平均正答率が全国と同程度である。数学において、全国を下回っている。

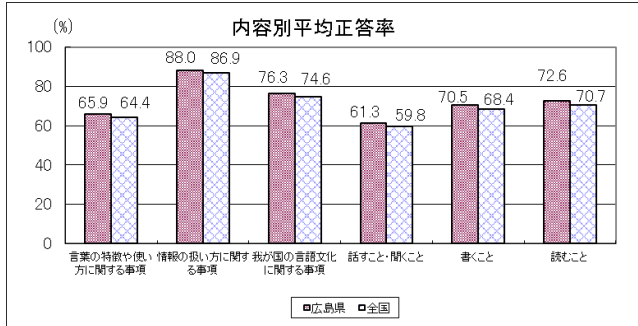
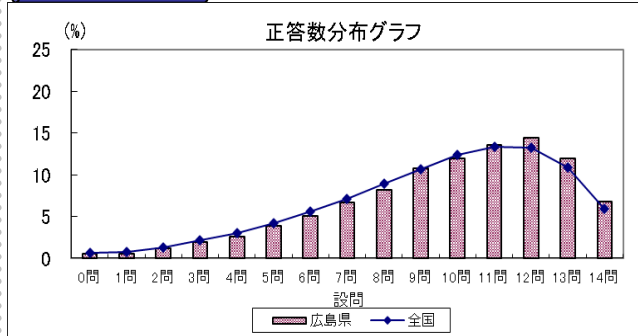
		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
平均正答率 (%)	広島県 (公立)	69	64	58	52
	全国 (公立)	67.7	63.4	58.1	52.5

教科に関する問題の調査結果

1 小学校 国語

○ 国語については、平均正答率が69%で、全ての内容において平均正答率は全国平均より高い。

国語



正答率上位2問

- 【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと
して、適切なものを選択する
(設問 2- (2)) 88.0% (全国 86.9%)
- 高山さんが文章に書くことを決めるために、ど
のように考えたのかについて説明したものと
して、適切なものを選択する
(設問 2- (1)) 81.1% (全国 80.3%)

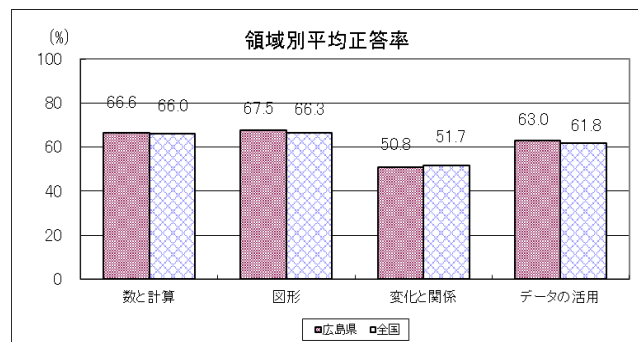
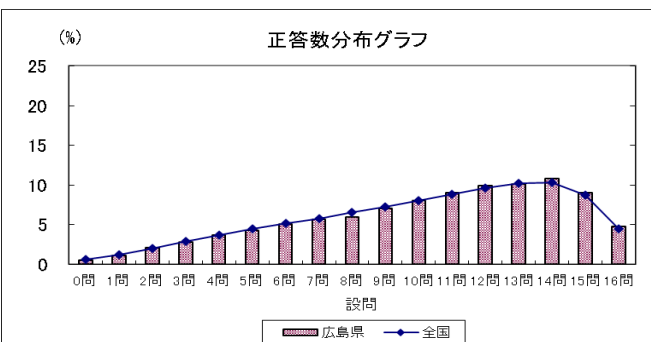
正答率下位2問

- 【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使っ
て書き直す(きょうぎ)
(設問 2三ア) 44.7% (全国 43.4%)
- オンラインで交流する場面における和田さんの
話し方の工夫として適切なものを選択する
(設問 1二 (2)) 54.1% (全国 52.9%)

2 小学校 算数

○ 算数については、平均正答率が64%で、領域別では「変化と関係」の平均正答率が全国平均より低く、その他は全国平均より高い。

算数



正答率上位2問

- はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚とした
ときの、問題場面を表す式を選ぶ
(設問 1 (2)) 88.1% (全国 88.5%)
- 作成途中の直方体の見取図について、辺として
正しいものを選ぶ
(設問 3 (1)) 86.8% (全国 85.5%)

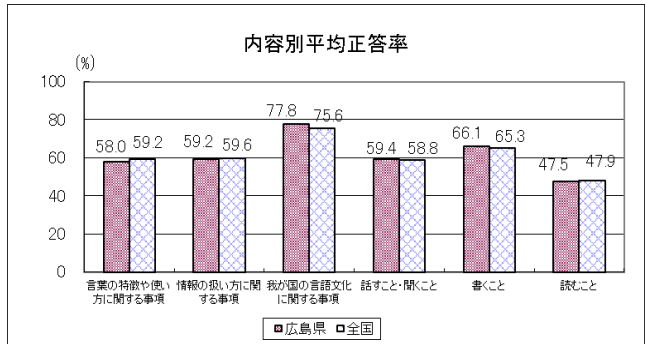
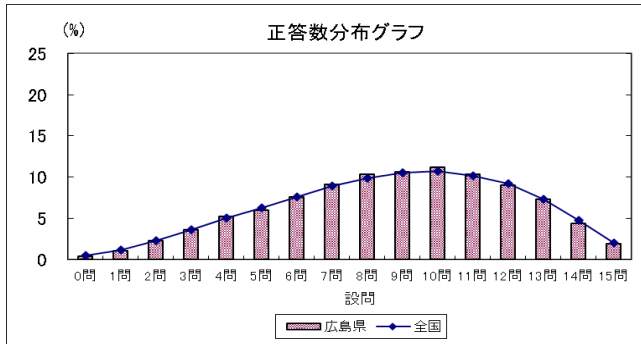
正答率下位2問

- 家から学校までの道のりが等しく、かかった時
間異なる二人の速さについて、どちらが速いか
を判断し、そのわけを書く
(設問 4 (3)) 30.4% (全国 31.0%)
- 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積
を求める式を書く
(設問 3 (3)) 37.6% (全国 36.5%)

3 中学校 国語

- 国語については、平均正答率が58%で、内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「読むこと」の平均正答率は全国平均より低く、他の内容は全国平均より高い。

国語



正答率上位2問

- 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したのとして適切なものを選択する (設問 3一) 81.0% (全国 81.4%)
- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する (設問 4三) 77.8% (全国 75.6%)

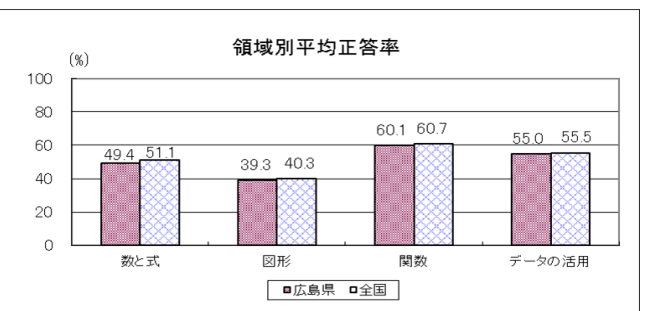
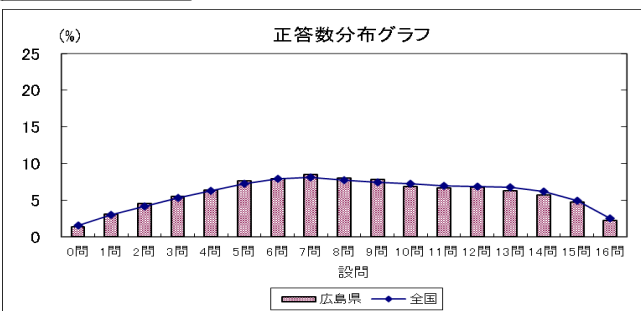
正答率下位2問

- 本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する (設問 2一) 35.3% (全国 36.3%)
- 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する (設問 2四) 42.4% (全国 42.6%)

4 中学校 数学

- 数学については、平均正答率が52%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より低い。

数学



正答率上位2問

- 正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求め (設問 6(1)) 90.4% (全国 90.2%)
- ストープの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選び (設問 8(1)) 83.6% (全国 83.4%)

正答率下位2問

- 18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する (設問 8(2)) 17.4% (全国 17.1%)
- 車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する (設問 7(2)) 24.8% (全国 25.9%)